



一般社団法人リファイニング建築・都市再生協会 × 一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構
提携記念講演会『リファイニング建築とは何か？まちづくりへの可能性』

講演者



日本建築まちづくり適正支援機構
 代表理事

建築家 連 健夫

1956年京都市生まれ、東京都立大学大学院修了の後、建設会社10年間勤務、胃の手術がきっかけとなり1991年渡英、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、東ロンドン大学非常勤講師、在英日本大使館を経て1996年に帰国、連健夫建築研究室を設立し建築活動の傍ら、早稲田大学、芝浦工業大学で非常勤講師を務めている。港区登録まちづくりコンサルタントとして街づくりに関わっている。作品にルーテル学院大学新校舎（JIA 優秀建築選）、白鷗大学おもちゃライブラリー（栃木県建築景観賞）、荻窪家族レジデンス（グッドデザイン賞）等、著書に「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」、共著に「対話による建築まち育て」等。



リファイニング建築・都市再生協会
 代表理事

建築家 青木 茂

1948年大分県生まれ、青木茂建築工房代表取締役、大連理工大学客員教授、福山女学園大学客員教授、日本文理大学客員教授、韓国モグオン大学特任教授、博士（東京大学工学）、一級建築士。約30年に渡り、独自に再生建築の定義を確立し「リファイニング建築」の名称で再生建築に取り組んでいる。著書に「公共建築の未来」「住む人のための建てもの再生」「REFINING CITY × SMART CITY」「長寿命建築へ」「団地をリファイニングしよう」「いつまでも美しく使えるリノベーション」「未来へつなぐリファイニング建築」等。主な受賞に日本建築学会賞・業績賞（2001）グッドデザイン賞特別賞（1999,2010）BCS賞（2015）BELCA賞（2001,2016）等。

リファイニング建築とは、既存ストックを活かす建築行為であり、まちづくりと相性が良い。JCAABEは良質な建築、美しい街づくりを目的に活動していますが、この「良質」がキーワードです。リファイニングは既存建物を物理的、機能的、法的に再生することであり、建築を健康かつ良質にする行為と言えます。現在、まちづくりにおける多くの建築行為は、新築のみならず、増築、改築、減築などを含む編集設計行為と言え、良質な建築、美しいまちづくりという方向性において重なります。今回の提携を記念し、この可能性の拡がりについてディスカッションします。

2021年4月17日（土） 14:00～16:00
 ZOOM ウェビナーオンライン開催

招待 URL : https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_xBG4c7V9RRuSeyXAa9PMjQ

（事前に名前・emailの記入があります。参加直前で可能です。）

登録 email に返信がありますのでのそちらからご参加ください）

問合せ：リファイニング建築・都市再生協会（担当：吉川）
jimukyoku@refining.or.jp | TEL 03-6825-7488
 日本建築まちづくり適正支援機構（担当：北村）
info@jcaabe.org | TEL 090-4500-9191

参加費：無料

定員：500名（ウェビナー）進行：松村 哲志